

## 2022年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2021年8月3日

上場会社名 兼松株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 8020 URL <https://www.kanematsu.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮部 佳也  
 問合せ先責任者 (役職名) 主計部長 (氏名) 藤井 励起 TEL 03-5440-8111  
 四半期報告書提出予定日 2021年8月10日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第1四半期の連結業績 (2021年4月1日～2021年6月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	175,567	23.3	5,047	49.0	5,284	54.6	3,765	49.2	3,253	37.9	2,849	2.9
2021年3月期第1四半期	142,371	△15.5	3,386	△42.0	3,418	△40.9	2,522	△36.9	2,359	△33.0	2,768	40.0

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	38.96	38.91
2021年3月期第1四半期	28.25	28.23

(注) 「営業利益」は、要約四半期連結損益計算書における「営業活動に係る利益」を示しております。  
 「基本的1株当たり四半期利益」および「希薄化後1株当たり四半期利益」は、「親会社の所有者に帰属する四半期利益」を基に算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	550,186	179,822	143,841	26.1
2021年3月期	557,495	180,492	143,926	25.8

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	30.00	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正有無 : 無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	700,000	7.8	28,000	18.5	28,000	18.7	15,000	12.7	179.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期1Q	84,500,202株	2021年3月期	84,500,202株
② 期末自己株式数	2022年3月期1Q	988,729株	2021年3月期	988,461株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期1Q	83,511,633株	2021年3月期1Q	83,511,632株

※ 四半期決算短信は公認会計士または監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
要約四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
要約四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2021年4月1日～6月30日)の世界経済は、大型経済対策とワクチン接種の進展により、先進国を中心に新型コロナウイルスの影響に見舞われた前年状況から大きく改善しつつあります。

米国においては、大型経済対策に加えてワクチン接種の進展により経済活動は急速に回復し、世界経済を牽引していますが、今後の安定成長に向けて、変異型ウイルスによる感染再拡大、インフレの進捗、量的緩和政策の縮小なども懸念されます。欧州においても、変異型ウイルスの急拡大により前年には2四半期連続のマイナス成長に陥ったものの、英国を中心としたワクチン接種の進展により、経済活動は回復局面にあります。中国においては、主要国でのサプライチェーン復旧に伴い新型コロナウイルス関連輸出が落ち込みつつあり、早期感染抑え込みの特需要因は縮小し、巡航速度に回帰しつつあります。

好調な主要先進国に対し新興国では、ワクチン接種の遅れから厳しい経済環境が続く中で、世界的な商品価格上昇を受けてのインフレ圧力や、感染拡大によるサプライチェーンへのダメージも広がり、世界経済はワクチン接種の進捗度によるK字回復の傾向が強まっています。

先進国の中で大きくワクチン接種が遅れている我が国は、度重なる緊急事態宣言の発出と、それに伴う消費活動の縮小により、主要国経済の中では鈍い回復に留まっております。

このような環境のもと、当第1四半期連結累計期間の当社グループの業績は、次のとおりとなりました。

市況上昇を受けた畜産事業や食糧事業、ショップへの来店者数が戻りつつあるモバイル事業や、原油価格上昇により原油・石油製品取引高が増加したエネルギー事業を中心にほぼすべての事業において増収となりました。官公庁向け契約の端境期となった航空宇宙事業は減益となった一方、増収の畜産事業や、半導体需要が好調な半導体部品・製造装置事業、エネルギー需要の回復を受けた鋼管事業で増益となりました。

その結果、収益は、前年同期比331億96百万円(23.3%)増加の1,755億67百万円となり、売上総利益も、前年同期比33億37百万円(15.6%)増加の247億82百万円となりました。営業活動に係る利益は、販売費及び一般管理費は増加しましたが売上総利益などの増加により、前年同期比16億61百万円(49.0%)増加の50億47百万円となりました。また、営業活動に係る利益の増加などにより、税引前四半期利益は、前年同期比18億66百万円(54.6%)増加の52億84百万円となり、親会社の所有者に帰属する四半期利益は、前年同期比8億94百万円(37.9%)増加の32億53百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ① 電子・デバイス

収益はモバイル事業や半導体部品・製造装置事業の増収により前年同期比100億19百万円増加の537億57百万円、営業活動に係る利益は半導体部品・製造装置事業の増益により2億98百万円増加の21億92百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は1億91百万円増加の11億44百万円となりました。

## ② 食料

収益は畜産事業や食糧事業の増収により前年同期比81億41百万円増加の700億74百万円、営業活動に係る利益は畜産事業、食品事業の増益により11億75百万円増加の15億36百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は6億16百万円増加の10億57百万円となりました。

## ③ 鉄鋼・素材・プラント

収益はエネルギー事業や鋼管事業の増収により前年同期比114億79百万円増加の319億37百万円、営業活動に係る利益は鋼管事業の増益により5億17百万円増加の5億56百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は1億65百万円増加の4億34百万円となりました。

## ④ 車両・航空

収益は車両・車載部品事業の増収により前年同期比32億1百万円増加の168億35百万円、営業活動に係る利益は航空宇宙事業の減益により3億15百万円減少の5億86百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は2億19百万円減少の3億49百万円となりました。

## ⑤ その他

収益は前年同期比3億57百万円増加の29億62百万円、営業活動に係る利益は30百万円減少の1億68百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は1億24百万円減少の96百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債および資本の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比73億9百万円減少の5,501億86百万円となりました。

有利子負債については、短期借入金の増加などにより前連結会計年度末比52億61百万円増加の1,274億18百万円となりました。現預金を差し引いたネット有利子負債は、前連結会計年度末比73億1百万円増加の478億21百万円となりました。なお、有利子負債にはリース負債を含めておりません。

資本のうち、親会社の所有者に帰属する持分については、親会社の所有者に帰属する四半期利益の積上げの一方で、配当金の支払いや期末日株価の下落などに伴うその他の資本の構成要素の減少などにより、前連結会計年度末比85百万円減少の1,438億41百万円となりました。

その結果、親会社所有者帰属持分比率は26.1%、ネット有利子負債資本倍率（ネットDER）は0.3倍となりました。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末比20億65百万円減少の789億80百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、営業収入の積上げなどにより、25億56百万円の収入（前年同期は78億8百万円の収入）となりました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、子会社の取得や事業譲受などの事業投資の実行により、42億30百万円の支出（前年同期は18億15百万円の支出）となりました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加による収入があった一方で、配当金の支払いやリース負債の返済などにより、4億98百万円の支出（前年同期は99億79百万円の支出）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の連結業績予想につきましては、2021年5月7日公表の連結業績予想から変更はありません。

## \* 将来情報に関するご注意

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間末 (2021年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	81,045	78,980
営業債権及びその他の債権	207,285	194,328
棚卸資産	99,711	104,210
その他の金融資産	6,512	5,734
その他の流動資産	26,339	28,824
流動資産合計	420,894	412,078
非流動資産		
有形固定資産	42,246	43,758
のれん	10,296	10,577
無形資産	24,926	24,967
持分法で会計処理されている投資	11,869	12,455
営業債権及びその他の債権	1,280	1,254
その他の投資	33,536	32,387
その他の金融資産	7,079	7,137
繰延税金資産	2,318	2,031
その他の非流動資産	3,046	3,538
非流動資産合計	136,601	138,107
資産合計	557,495	550,186

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間末 (2021年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	182,980	171,135
社債及び借入金	57,723	64,723
リース負債	6,999	7,152
その他の金融負債	5,442	7,646
未払法人所得税	2,942	982
引当金	607	535
その他の流動負債	28,213	27,472
流動負債合計	284,909	279,647
非流動負債		
社債及び借入金	64,434	62,695
リース負債	10,328	10,675
その他の金融負債	1,807	1,765
退職給付に係る負債	6,517	6,518
引当金	1,944	1,910
繰延税金負債	5,527	5,554
その他の非流動負債	1,533	1,596
非流動負債合計	92,093	90,716
負債合計	377,003	370,364
資本		
資本金	27,781	27,781
資本剰余金	27,034	27,083
利益剰余金	78,070	78,969
自己株式	△1,311	△1,311
その他の資本の構成要素		
在外営業活動体の換算差額	1,633	1,956
その他の包括利益を通じて 公正価値で測定する金融資産	10,163	9,147
キャッシュ・フロー・ヘッジ	554	214
その他の資本の構成要素合計	12,351	11,318
親会社の所有者に帰属する持分合計	143,926	143,841
非支配持分	36,566	35,980
資本合計	180,492	179,822
負債及び資本合計	557,495	550,186

## (2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

(第 1 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自2020年 4 月 1 日 至2020年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自2021年 4 月 1 日 至2021年 6 月30日)
収益	142,371	175,567
原価	△120,925	△150,785
売上総利益	21,445	24,782
販売費及び一般管理費	△18,617	△20,565
その他の収益・費用		
固定資産除売却損益	△13	△1
固定資産減損損失	△14	△12
その他の収益	757	990
その他の費用	△170	△145
その他の収益・費用合計	558	830
営業活動に係る利益	3,386	5,047
金融収益		
受取利息	49	34
受取配当金	388	388
その他の金融収益	—	6
金融収益合計	437	428
金融費用		
支払利息	△531	△400
その他の金融費用	△69	△52
金融費用合計	△601	△452
持分法による投資損益	195	260
税引前四半期利益	3,418	5,284
法人所得税費用	△895	△1,519
四半期利益	2,522	3,765
四半期利益の帰属：		
親会社の所有者	2,359	3,253
非支配持分	163	511
計	2,522	3,765
親会社の所有者に帰属する 1 株当たり 四半期利益		
基本的 1 株当たり四半期利益 (円)	28.25	38.96
希薄化後 1 株当たり四半期利益 (円)	28.23	38.91



(要約四半期連結包括利益計算書)  
(第 1 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自2020年 4 月 1 日 至2020年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自2021年 4 月 1 日 至2021年 6 月30日)
四半期利益	2,522	3,765
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	920	△896
確定給付制度の再測定	△2	△0
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	9	△1
純損益に振り替えられることのない項目合計	926	△898
純損益にその後に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△420	118
キャッシュ・フロー・ヘッジ	35	△338
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	△296	202
純損益にその後に振り替えられる可能性のある項目合計	△680	△16
税引後その他の包括利益	246	△915
四半期包括利益	2,768	2,849
四半期包括利益の帰属：		
親会社の所有者	2,677	2,371
非支配持分	91	478
計	2,768	2,849

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					在外営業活動体の換算差額	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産
2020年4月1日残高	27,781	26,957	69,540	△1,309	930	6,816
四半期利益			2,359			
その他の包括利益					△605	892
四半期包括利益	—	—	2,359	—	△605	892
配当金			△2,505			
非支配持分株主に対する配当金						
自己株式の取得				△0		
自己株式の処分						
非支配持分株主との資本取引		△39				
株式報酬取引		12				
所有者との取引額合計	—	△27	△2,505	△0	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替			27			△29
2020年6月30日残高	27,781	26,930	69,421	△1,310	324	7,679

	親会社の所有者に帰属する持分				非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素			親会社の所有者に帰属する持分合計		
	キャッシュ・フロー・ヘッジ	確定給付制度の再測定	その他の資本の構成要素計			
2020年4月1日残高	113	—	7,860	130,829	35,344	166,174
四半期利益			—	2,359	163	2,522
その他の包括利益	33	△2	317	317	△71	246
四半期包括利益	33	△2	317	2,677	91	2,768
配当金			—	△2,505		△2,505
非支配持分株主に対する配当金			—	—	△890	△890
自己株式の取得			—	△0		△0
自己株式の処分			—	—		—
非支配持分株主との資本取引			—	△39	△100	△140
株式報酬取引			—	12		12
所有者との取引額合計	—	—	—	△2,532	△990	△3,523
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替		2	△27	—		—
2020年6月30日残高	146	—	8,151	130,974	34,445	165,419

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					在外営業活動体の換算差額	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産
2021年 4 月 1 日残高	27,781	27,034	78,070	△1,311	1,633	10,163
四半期利益 その他の包括利益			3,253		323	△864
四半期包括利益	—	—	3,253	—	323	△864
配当金 非支配持分株主に対する 配当金 自己株式の取得 自己株式の処分 非支配持分株主との資本取引 株式報酬取引			△2,505	△0		
所有者との取引額合計	—	49	△2,505	△0	—	—
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替			151			△151
2021年 6 月30日残高	27,781	27,083	78,969	△1,311	1,956	9,147

	親会社の所有者に帰属する持分				非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素			親会社の所有者に帰属する持分合計		
	キャッシュ・フロー・ヘッジ	確定給付制度の再測定	その他の資本の構成要素計			
2021年 4 月 1 日残高	554	—	12,351	143,926	36,566	180,492
四半期利益 その他の包括利益	△340	△0	△881	3,253 △881	511 △33	3,765 △915
四半期包括利益	△340	△0	△881	2,371	478	2,849
配当金 非支配持分株主に対する 配当金 自己株式の取得 自己株式の処分 非支配持分株主との資本取引 株式報酬取引			—	△2,505 — △0 — 7 42	— △1,039 — △24	△2,505 △1,039 △0 — △17 42
所有者との取引額合計	—	—	—	△2,456	△1,063	△3,520
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替		0	△151	—		—
2021年 6 月30日残高	214	—	11,318	143,841	35,980	179,822



(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントの利益は、親会社の所有者に帰属する四半期利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益および振替高は外部顧客との取引価格に準じて決定しております。

I 前第 1 四半期連結累計期間 (自2020年 4 月 1 日 至2020年 6 月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	調整額 (注) 2	連結
	電子・ デバイス	食料	鉄鋼・ 素材・ プラント	車両・航空	計			
収益								
外部顧客からの収益	43,738	61,933	20,458	13,634	139,765	2,605	—	142,371
セグメント間収益	74	0	9	0	84	29	△113	—
収益合計	43,813	61,934	20,468	13,634	139,850	2,634	△113	142,371
営業活動に係る利益 または損失 (△)	1,894	361	39	901	3,195	198	△7	3,386
セグメント利益または 損失 (△)	953	441	269	568	2,233	220	△94	2,359

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流・保険サービス事業およびジオテック事業等を含んでおります。

2. 調整額は、次のとおりであります。

- ・営業活動に係る利益または損失 (△) の調整額△7百万円には、セグメント間取引消去△7百万円が含まれております。
- ・セグメント利益または損失 (△) の調整額△94百万円には、セグメント間取引消去△10百万円、各セグメントに配分していない全社費用△83百万円が含まれております。全社費用の主な内容は、当社において発生する実際の法人所得税費用と、社内で設定している計算方法により各セグメントに配分した法人所得税費用との差異等であります。

## II 当第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	調整額 (注) 2	連結
	電子・ デバイス	食料	鉄鋼・ 素材・ プラント	車両・航空	計			
収益								
外部顧客からの収益	53,757	70,074	31,937	16,835	172,604	2,962	—	175,567
セグメント間収益	48	0	7	2	59	60	△120	—
収益合計	53,805	70,075	31,945	16,838	172,663	3,023	△120	175,567
営業活動に係る利益 または損失 (△)	2,192	1,536	556	586	4,872	168	6	5,047
セグメント利益または 損失 (△)	1,144	1,057	434	349	2,985	96	171	3,253

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流・保険サービス事業およびジオテック事業等を含んでおります。

2. 調整額は、次のとおりであります。

- ・営業活動に係る利益または損失 (△) の調整額6百万円には、セグメント間取引消去6百万円が含まれております。
- ・セグメント利益または損失 (△) の調整額171百万円には、セグメント間取引消去△1百万円、各セグメントに配分していない全社費用172百万円が含まれております。全社費用の主な内容は、当社において発生する実際の法人所得税費用と、社内で設定している計算方法により各セグメントに配分した法人所得税費用との差異等であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

# 2022年3月期 第1四半期 連結決算（補足説明資料）

## 将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがありますので、本情報や資料の利用については、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行ってくださいようお願い致します。

本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

なお、表示の数値は、億円未満を四捨五入しておりますので、個別数値と合計数値・増減額が一致しない場合があります。

## <サマリー>

■ 前年同期比、増収増益。第1四半期は順調な滑り出し。

◇ 収益	1,756 億円	23.3% 増収
◇ 営業活動に係る利益	50 億円	49.0% 増益
◇ 税引前四半期利益	53 億円	54.6% 増益
◇ 親会社所有者帰属四半期利益	33 億円	37.9% 増益

■ 当期利益(親会社所有者帰属)進捗率は約22%。

## 1. 損益の状況

(単位：億円)	2021/3月期	2022/3月期	前年同期比		2022/3月期	
	第1四半期	第1四半期	増減額	増減率	見通し	進捗率
収益	1,424	<b>1,756</b>	332	23.3%	7,000	25.1%
売上総利益	214	<b>248</b>	33	15.6%	-	-
販売費及び一般管理費	△ 186	△ <b>206</b>	△ 19	-	-	-
その他の収益・費用	6	<b>8</b>	3	48.9%	-	-
営業活動に係る利益	34	<b>50</b>	17	49.0%	280	18.0%
利息収支	△ 5	△ <b>4</b>	1	-	-	-
受取配当金	4	<b>4</b>	0	-	-	-
その他の金融収益・費用	△ 1	△ <b>0</b>	0	-	-	-
金融収益・費用	△ 2	△ <b>0</b>	1	-	-	-
持分法による投資損益	2	<b>3</b>	1	33.5%	-	-
税引前四半期利益	34	<b>53</b>	19	54.6%	280	18.9%
法人所得税費用	△ 9	△ <b>15</b>	△ 6	-	-	-
四半期利益	25	<b>38</b>	12	49.2%	-	-
親会社所有者帰属四半期利益	24	<b>33</b>	9	37.9%	150	21.7%
1株当たり四半期利益 (円)	28.25	<b>38.96</b>	10.71	37.9%	179.62	21.7%

### 【収益】

すべてのセグメントにおいて前期比増加し、332億円の増収。

### 【営業活動に係る利益】

食料セグメント、鉄鋼・素材・プラントセグメントを中心に、17億円の増益。

### 【税引前四半期利益】

営業活動に係る利益の増加などにより、19億円の増益。

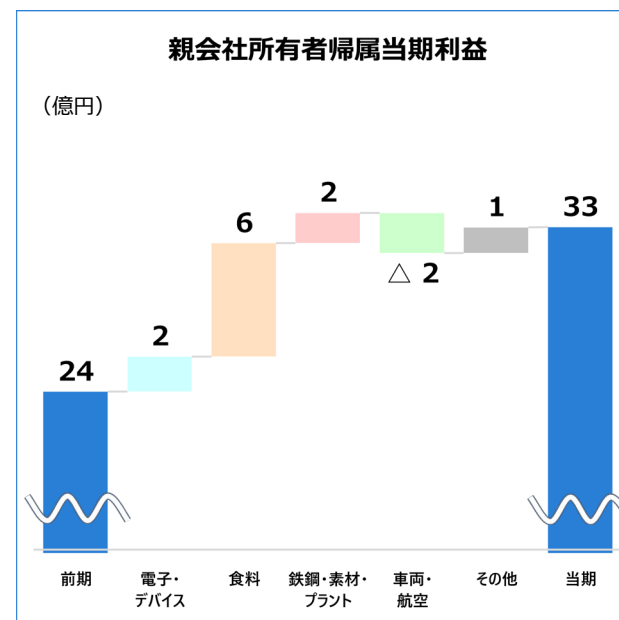
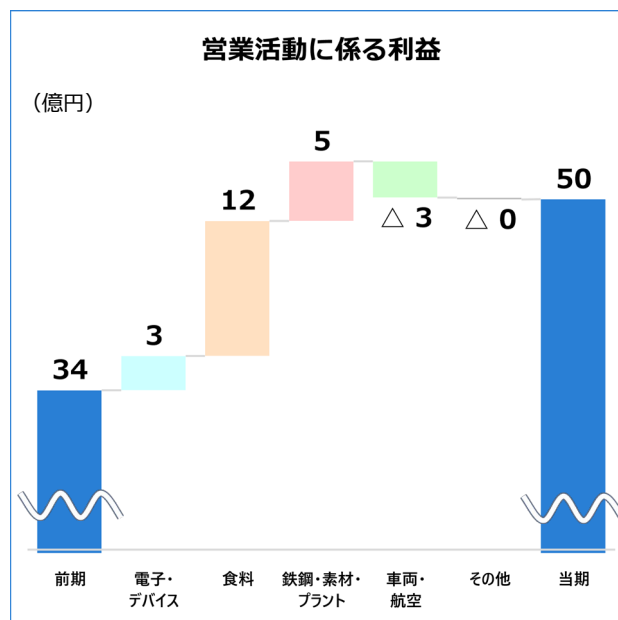
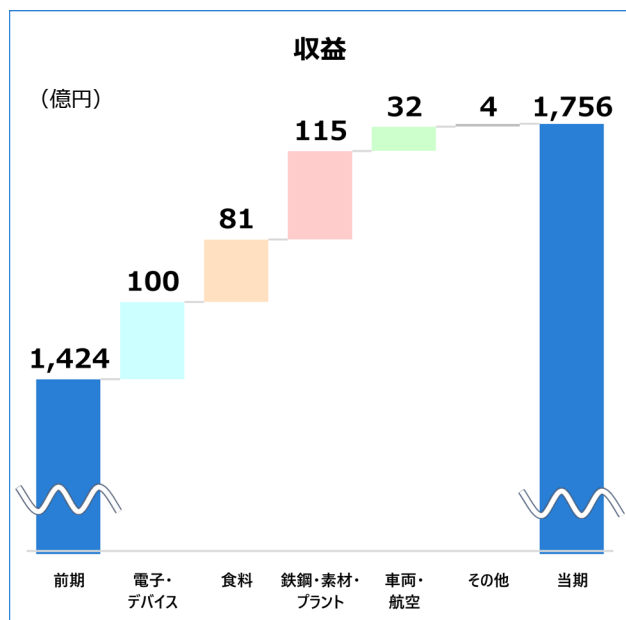
### 【親会社所有者帰属四半期利益】

税引前四半期利益の増加に伴い、9億円の増益。

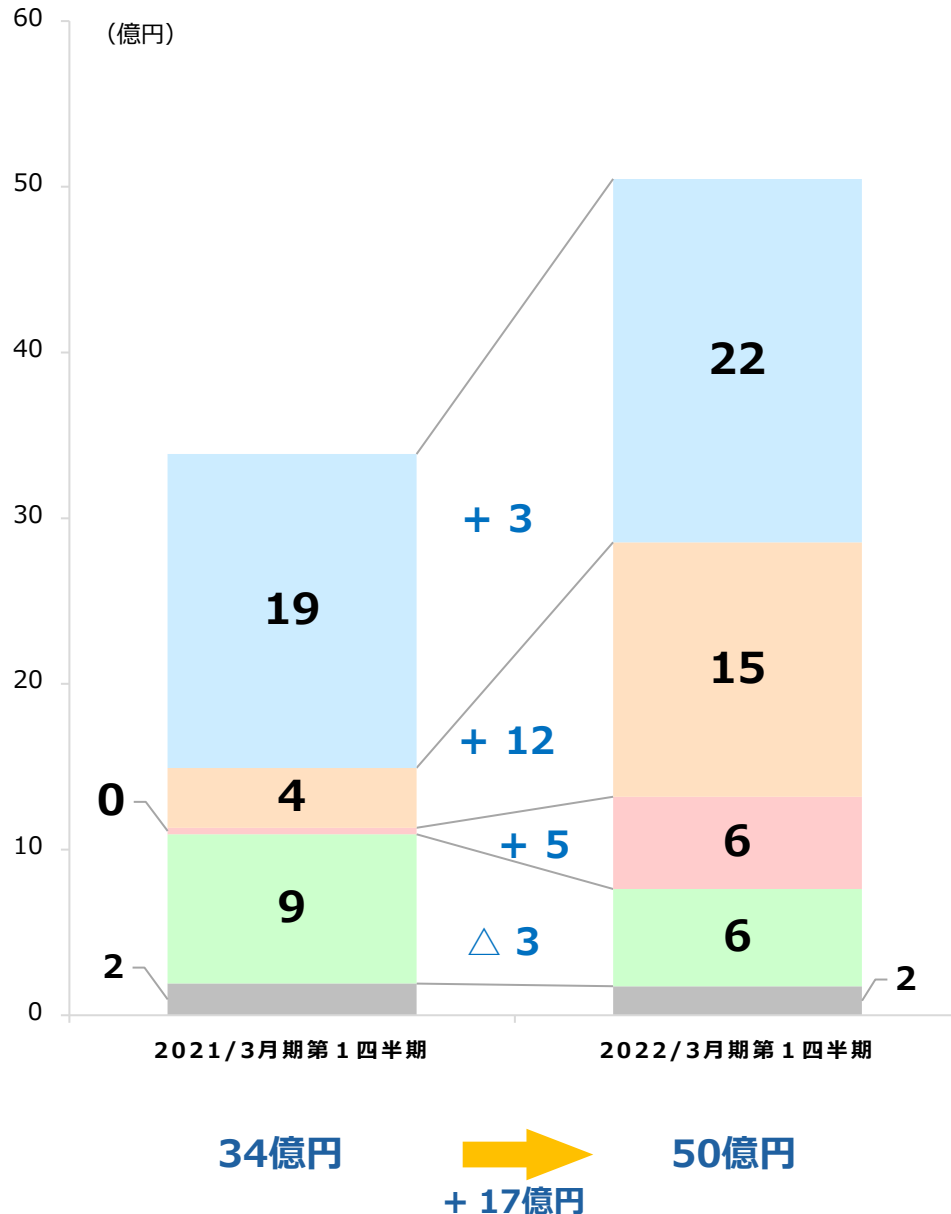


## 2. セグメント情報

(単位:億円)	収益					営業活動に係る利益					親会社所有者帰属当期利益				
	2021/3月期 第1四半期	2022/3月期 第1四半期	増減	2022/3月期		2021/3月期 第1四半期	2022/3月期 第1四半期	増減	2022/3月期		2021/3月期 第1四半期	2022/3月期 第1四半期	増減	2022/3月期	
				見通し	進捗率				見通し	進捗率				見通し	進捗率
電子・デバイス	437	<b>538</b>	100	2,500	22%	19	<b>22</b>	3	192	11%	10	<b>11</b>	2	90	13%
食料	619	<b>701</b>	81	2,600	27%	4	<b>15</b>	12	35	44%	4	<b>11</b>	6	23	46%
鉄鋼・素材・プラント	205	<b>319</b>	115	1,100	29%	0	<b>6</b>	5	31	18%	3	<b>4</b>	2	25	17%
車両・航空	136	<b>168</b>	32	700	24%	9	<b>6</b>	△3	14	42%	6	<b>3</b>	△2	9	39%
報告セグメント合計	1,398	<b>1,726</b>	328	6,900	25%	32	<b>49</b>	17	272	18%	22	<b>30</b>	8	147	20%
その他(含む調整額)	26	<b>30</b>	4	100	30%	2	<b>2</b>	△0	8	22%	1	<b>3</b>	1	3	89%
総合計	1,424	<b>1,756</b>	332	7,000	25%	34	<b>50</b>	17	280	18%	24	<b>33</b>	9	150	22%



### 3. 営業活動に係る利益 <セグメント別増減>



#### 前期比増減要因

- 【電子・デバイス】 **3** 億円 増益  
 半導体部品・製造装置事業は、旺盛な需要を受けて半導体・液晶パネル関連の製造装置・消耗品の出荷が伸長し順調に推移。ICTソリューション事業は、セキュリティ関連やネットワーク関連の案件の増加などもあり堅調に推移。モバイル事業は、ショップへの来店者数は戻りつつあるものの緊急事態宣言などの影響もあり微増。
- 【食料】 **12** 億円 増益  
 畜産事業は、需要の回復に加え、畜産物全般の価格が大きく上昇し、外食関連販売で苦戦した昨年からの反動により増益。食品事業は、リテール市場向け商材の取引が伸長し順調に推移。食糧事業は、穀物・飼料価格上昇のもと堅調に推移。
- 【鉄鋼・素材・プラント】 **5** 億円 増益  
 工作機械・産業機械事業は、新型コロナウイルスの影響を強く受けた前年同期の事業環境から回復し堅調に推移。鋼管事業は、エネルギー需要の底打ちを受けて回復基調。一方、エネルギー事業は、今後のデリバリーで回復が見込まれるものの一時的に減益。
- 【車両・航空】 **3** 億円 減益  
 航空宇宙事業は、官公庁向け契約の端境期にあたり低調に推移。一方、車両・車載部品事業は、取引先の生産が回復したことで車載部品取引が順調に推移。

## 4. キャッシュ・フローおよび財政状態

(単位：億円)	2021/3月期 第1四半期	2022/3月期 第1四半期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	78	<b>26</b>	△ 53
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 18	△ 42	△ 24
フリーキャッシュ・フロー	60	△ 17	△ 77
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 100	△ 5	95

(IFRS第16号「リース」適用にともなう影響額)

営業活動によるキャッシュ・フロー	19	<b>21</b>	2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 19	△ 21	△ 2

### 【営業活動によるキャッシュ・フロー】

営業収入の積上げなどにより、26億円のキャッシュ・イン。

### 【投資活動によるキャッシュ・フロー】

子会社の取得や事業譲受などの事業投資の実行により、42億円のキャッシュ・アウト。

### 【財務活動によるキャッシュ・フロー】

短期借入金の増加による収入があった一方、配当金の支払いやリース負債の返済などにより、5億円のキャッシュ・アウト。

(単位：億円)	2021/3末	2021/6末	増減
総資産	5,575	<b>5,502</b>	△ 73
グロス有利子負債 (注1)	1,222	<b>1,274</b>	53
ネット有利子負債	405	<b>478</b>	73
自己資本 (注2)	1,439	<b>1,438</b>	△ 1
内、利益剰余金	781	<b>790</b>	9
内、その他の資本の構成要素合計	124	<b>113</b>	△ 10

(注1) グロス有利子負債は、リース負債を除いた社債及び借入金の合計額

(注2) 自己資本は、資本の「親会社の所有者に帰属する持分」

### 【総資産】

営業債権およびその他の債権の減少などにより、73億円の減少。

### 【有利子負債】

短期借入金の増加などにより、73億円の増加。

### 【自己資本】

親会社所有者帰属四半期利益の積上げの一方、配当金の支払いや株価の下落に伴う評価額の減少などでほぼ横ばい。

自己資本比率は26.1%、ネットDERは0.3倍。

自己資本比率 (注3)	25.8%	<b>26.1%</b>	0.3%上昇
ネットDER (注4)	0.3倍	<b>0.3倍</b>	横ばい

(注3) 自己資本比率 = 自己資本 / 総資産

(注4) ネットDER = ネット有利子負債 / 自己資本

## 5. 株主還元・資本効率

### 【配当】

	2018/3期	2019/3期	2020/3期	2021/3期	2022/3期(予想)
年間配当額/株 (円)	48	60	60	60	60
連結配当性向	24.8%	30.3%	34.8%	37.6%	33.4%

### 【当期利益・ROE・ROIC】

